

新木場木工交流会 発表メモ

1

氏名	竹内 賢一	発表年月日	2016年 5月 14日
発表タイトル	直読式厚さ測定ゲージ		
内容 (不要箇所を削除)	治具紹介		
目的・ねらい	測定値が直読できるダブルエンドキャリパーを制作する。		
材料と方法	材料はアルミ板、方法は下記のとおり。		



木工旋盤等の作業時、作品の厚さを測定しなければならないことが必ずあります。従来のダブルエンドキャリパーでは、測定するたびにキャリパーの読み取り部分にスケールを当てて目盛りを読まなくてはなりません。この点を改善し、スケールを当てなくてもキャリパー上に目盛りをつけることにより、測定した値を直接読み取ることができるように改善した。(市販のデジタル式キャリパーゲージもあるが、約4000円と高価である)



本体は3mm厚のアルミ板である。型紙をこれに貼り付け糸鋸で切り出す。中心に穴明け、蝶ナットと蝶ボルトで固定できるようにする。



測定部の口を1mmずつ開きながら読み取り部に1mmずつ目盛りをケガク。